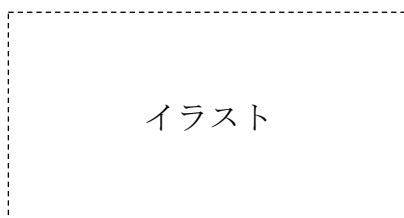




基本目標3

〔見守り・支え合いの ネットワークづくり〕

一つの制度・分野では解決できない相談を受け止め、包括的な視点で支援を継続していくために、区民・団体・民間・行政の更なる連携を図り、情報共有・連携体制を充実させていきます。



3年後を見据えてめざす多摩区の姿

- ・誰もが安心して助けを求めることができ、地域がその声を受け止め、必要な機関へつなげられている
- ・複雑化する課題に、区民・団体・民間・行政が連携して対応している



基本目標3【見守り・支え合いのネットワークづくり】を進める2つの基本方針

重点項目

1

支援が必要な人への見守り・支え合いの推進

一人ひとりの困りごとを見逃さず、必要な情報の提供を行い、サービスにつなげることができるよう、気軽に相談できる体制の充実を図ります。また、区民や民間事業者と連携して、地域での見守り活動を推進します。

2

区民・団体・民間・行政の連携

区民・団体・民間・行政が一体となって協力・連携できるよう支援体制の充実を図ります。また、制度・分野の枠にとらわれない情報共有等の仕組みづくりに取り組みます。

重点項目

基本目標 3-1

【支援が必要な人への見守り・支え合いの推進】

令和4年度川崎市地域福祉実態調査(多摩区版)では、地域福祉を推進するために行政が取り組むべきこととして、「サービスが利用できない、結びつかない人への対応の充実」と53.7%の方が回答しています。



誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、子ども、高齢者、障がい者等に関わる相談に対し、連携して適切に対応します。また、関係機関等と連携し、支援が必要な人への見守り、支え合いを進めます。

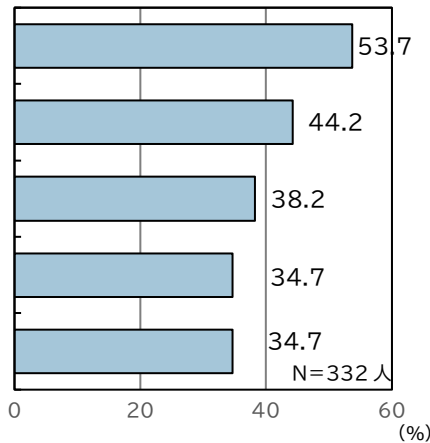


データから見るポイント

DATA 3-1 サービスが利用できない、結びつかない人への対応が求められている

地域福祉を推進するために行政が取り組むべきこと（複数回答・上位5項目）

- サービスが利用できない、結びつかない人への対応の充実
- 福祉サービスを適切に利用することができるような評価や内容の情報開示
- 行政からの一元的な情報提供、相談の場づくり
- 市民への意識調査や団体アンケート、聞き取りなどによる地域課題やニーズの把握
- ボランティアや地域で活動する地域福祉を担う人材の育成



地域福祉を推進するために行政が取り組むべきことは、「サービスが利用できない、結びつかない人への対応の充実」が 53.7%となっています。

資料:令和4年度川崎市地域福祉実態調査

【子ども・子育て】

●新生児訪問・
こんにちは赤ちゃん訪問

生後4か月までの赤ちゃんのいるご家庭に、訪問指導員や訪問員が伺い、赤ちゃんの体重測定や相談を行います。

●学習支援・
居場所づくり事業

生活保護受給世帯及びひとり親家庭の小学3～6年生及び中学生を対象に学習支援や居場所の提供を行います。

事業・取組

- 新生児訪問・こんにちは赤ちゃん訪問
- 産後の健康相談、育児相談
- 子ども・子育て相談
- 学習支援・居場所づくり事業

事業・取組の詳細は、P95に掲載しています

【高齢者・障がい者】

●認知症等行方不明 SOS ネットワーク事業



SOSネームプリントの貼り付け例

認知症等の方の情報を事前に登録し、行方不明となった際に速やかに発見するための緊急連絡体制を構築します。

●高齢者・障がい者 相談支援の実施



高齢者・障がい者に関する様々な相談を受け止め、適切な機関・制度・サービス等につなぎ、継続的なフォローを行います。

事業・取組

- ひとり暮らし等高齢者見守り事業
- 認知症等行方不明 SOS ネットワーク事業
- 高齢者・障がい者相談支援の実施

事業・取組の詳細は、P95に掲載しています

【地域・防災・暮らし】

●川崎市地域見守りネットワーク事業



協力事業者等から連絡のあった、異変のある地域住民の情報を基に関係部署と連携し、訪問等による必要な支援を行います。

●認知症訪問支援事業



認知症になってもできる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、多職種連携により、認知症高齢者とその家族への支援体制の構築を推進します。

事業・取組

- 川崎市地域見守りネットワーク事業
- 認知症訪問支援事業
- 災害時要援護者避難支援制度

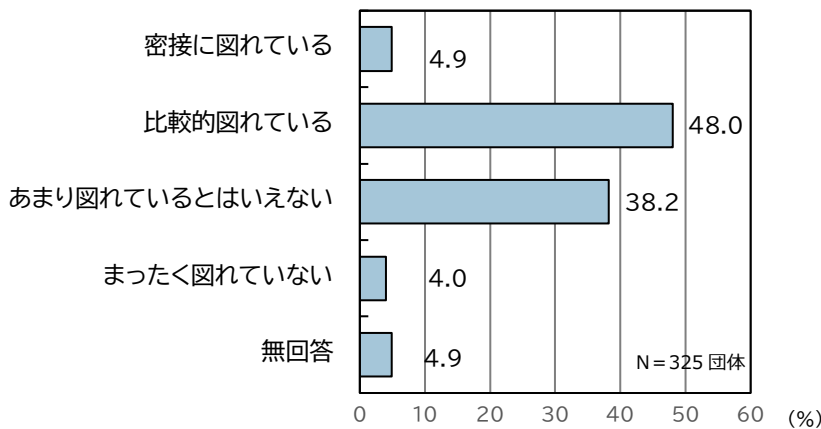
事業・取組の詳細は、P96に掲載しています



データから見るポイント

DATA 3-2 「地域」の住民と密接に連携が図れている団体は少ない

「地域」の住民と交流や連携が図れていると考えているか（単数回答）



地域の住民と交流や連携が密接に図れていると考えている団体は4.9%にとどまっています。

資料:令和4年度川崎市地域福祉実態調査

【子ども・子育て】

●多摩区こども総合支援連携会議



子どもに関わる市民活動団体・機関・関係部署のネットワークを活かし、地域全体で子育て支援を推進します。

●多摩区幼保小連携事業



区内の幼稚園、保育所等、小学校の職員が子どもの発達の連続性を踏まえ、情報共有や交流を行いながら連携、協力を進めていきます。

事業・取組

- 多摩区こども総合支援連携会議
- 多摩区要保護児童対策地域協議会実務者会議
- 多摩区幼保小連携事業
- 民営保育所・保育施設等への訪問・連携
- 多摩区子育て支援会議

事業・取組の詳細は、P97に掲載しています

【高齢者・障がい者】

●地域ケア会議



高齢者が地域の中で安心して暮らし続けられるよう、高齢者個人に対する支援の充実と、それを支える社会基盤の整備を同時に図ります。

●多摩区地域自立支援協議会



障がい者と家族が地域で安心して生活できるよう、障がいに関する普及啓発、社会資源の開発、支援技術の向上に取り組めます。

事業・取組

- 地域ケア会議
 - ・個別ケア会議
 - ・地域ケア圏域会議
 - ・相談支援・ケアマネジメント会議
- 多摩区在宅療養推進協議会
- 多摩区地域自立支援協議会
- 多摩区精神保健福祉連絡会議

事業・取組の詳細は、P98に掲載しています

【地域・防災・暮らし】

●多摩区支え合いのまちづくり推進会議



多摩区地域包括ケアシステム推進のため、地域ニーズや課題の共有や、区地域福祉計画の策定と事業評価について各種団体の代表者と意見交換を行います。

●多摩区健康づくり推進連絡会議



「かわさき健康づくり21」の推進とともに、健康づくり推進のネットワークづくりをめざします。

事業・取組

- 多摩区支え合いのまちづくり推進会議
- 区・地区社会福祉協議会との連携
- 庁内の各種連携会議
- 多摩区健康づくり推進連絡会議
- 多摩区食育推進分科会
- 関係営業施設との連携

事業・取組の詳細は、P99に掲載しています